

東陽石匠館 「日本遺産の日」関連展示

めいいしく いしもとぶんぱち こもんじよ

名石工 石本文八の古文書 初公開



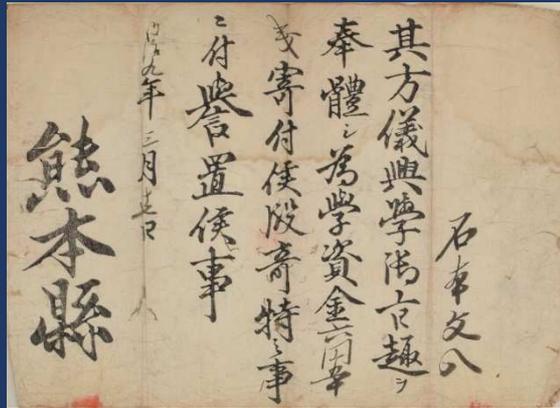
明治六年 熊本県養父 個人蔵、八代市立博物館寄託

明治六年 (一八七三)
橋本勘五郎とともに
上京した名石工



明治六年 大蔵省蔵、個人蔵、八代市立博物館寄託

明治九年 熊本県養父 個人蔵、八代市立博物館寄託



2点の初公開古文書から
もう「一人」の石工の
実像にせまる！

石本文八は幕末から明治初めにかけて活躍した名石工です。高い石材加工技術で活躍し、東陽町の菅原神社に現存する、文八作の「ひねり灯籠」〔嘉永7(1854)年〕は日本遺産構成文化財の一つです。

この展示では、文八に関する初公開古文書2点と、関連する橋本勘五郎の古文書2点を合わせて公開し、知られざる「もう一人」の石工、石本文八の実像に迫ります。あわせて、八代の日本遺産「八代を創造した石工たちの軌跡」の紹介パネルも展示します。

日本遺産の日 関連講座

「石本文八と橋本勘五郎～二人の名石工の実像を語る～」

日時：2月23日(水) ①10時 ②14時 (各回1時間程度)

講師：石匠館館長 上塚寿朗氏、八代市立博物館学芸員 鳥津亮二氏

場所：石匠館多目的ホール (要入館料)

定員：各回20名 (要申込：2/1から電話にて受付、先着順)

公開期間

2/11(金)

～

2/27(日)

※新型コロナの状況により、展示・講座は中止、変更となる場合があります。

【お問合せ】 八代市東陽石匠館 TEL65-2700 八代市東陽町北 98-2

開館時間 9時～16時30分 休館日 毎週月曜日

入館料 大人310円 高・大学生200円 小・中学生100円